(No.06F0032)

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】

１．事故・ヒヤリハットの別	事故事例
２．体験した事例の名称	三連はしごを搬送中、通行車両をよけようとして道路縁石に足を乗せバランスを崩し捻挫
３．体験した事例の中心的要素	三連梯子を搬送中にオートバイに道を譲り戻ろうとした際、歩道との縁石に足を乗せたためバランスを崩し転倒し、左足を捻挫した。
４．体験した事例の原因・理由	足元の確認をせずに不用意に段差の部分に足を乗せた。また、共同作業者による「段差あり」等の確認呼称もなかった。

【体験した事例の直接的原因について】

１．体験した事例の直接的な原因	

【体験した事例について】

１．発生日時	平成　18 年 4 月 18 日　　午後　8 時頃
２．発生した当時の天候	晴
３．発生した活動現場	屋外：道路上の縁石
４．体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
５．事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我
６．どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	転倒、
７．事例体験時の活動	火災、木造建物　[撤収、]
８．（７の活動中）どのような作業中に発生したか	資機材搬送・使用、
９．同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	

１０．ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者Ａ）

○当事者Ａ	年齢[59]歳、 勤続年数[29]年、 現場経験年数[29] 年、 階級[消防副士長]、同様の活動 [頻繁]、 任務 [隊員]
○当事者Ｂ	年齢[ ]歳、 勤続年数[ ]年、 現場経験年数[ ]年、 階級[ ]、同様の活動 [ ]、 任務 [ ]
○当事者Ｃ	年齢[ ]歳、 勤続年数[ ]年、 現場経験年数[ ]年、 階級[ ]、同様の活動 [ ]、 任務 [ ]
その他 （当事者が４人以上の場合）	

１１．事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過１	A	火災出場指令により出場	
経過２	A	現場到着。消火活動実施	
経過３	A	三連梯子を撤収するために現場から他の隊員と協力し車両へ搬送	
経過４	A	搬送中にオートバイを避けようとして移動中、段差に気づかずに左足を捻挫	機関員に受傷した旨を報告
経過５			
経過６			
経過７			
経過８			
経過９			
経過 10			

●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●●

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合　　：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

体力、反射神経等身体能力が劣っていた。集中力、注意力がなかった。足元の安全が確保できていなかった。後方からの監視の目が行き届いていなかった。他隊(員)との連携活動がうまくいかなかった。他隊(員)から適切な注意を受けられなかった。

○心理・体調について

ａ．あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

ｂ．注意力が欠如していた

・１つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	はい

・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	はい

c．経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d．心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

〇装備・資機材について

e．資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

〇活動環境について

f．障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g．行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h．足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

〇指揮・管理について

i．適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k．関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

〇その他

l．その他の理由があった。

いいえ

【事故発生後の取り組みについて】

○注意力欠如、焦り等の対策について

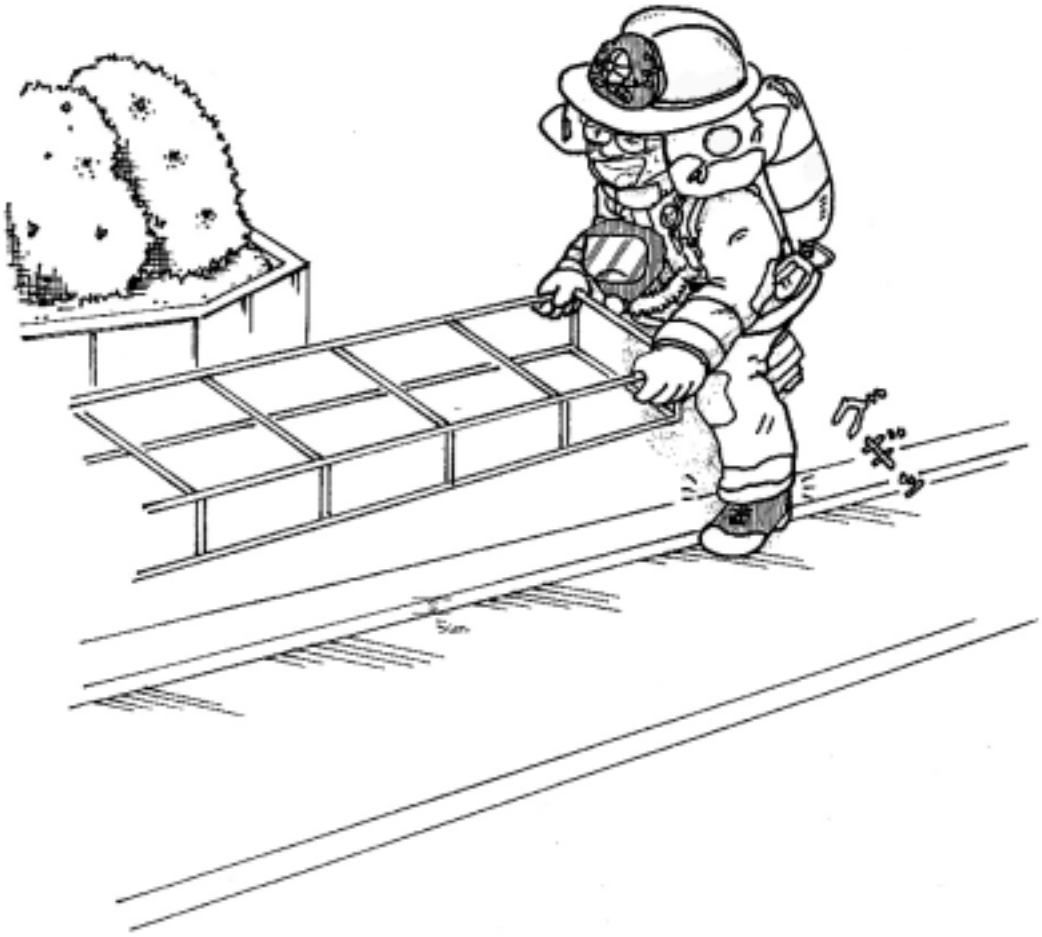
資器材江を搬送する際は足元を良く確認する必要性を再認識した。

○装備・資機材の対策について

近距離であっても三連梯子を正規に担いで搬送する。

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

共同作業者は、互いに相手の安全確認を行う。

受傷状況図